

サーバ復旧手順書

2025年4月1日

1.0版

Copyright (c) 2025 Santec Japan Corporation

本書の目的

内容

本書は、DATA SEALED SAFER サーバの復旧手順を説明しています。

前提と対象者

本書は、DATA SEALED SAFER サーバの管理を行う方を対象としております。また、Windows サーバの基本的な操作方法を習得していることが前提です。

目次

1.	1	前提	条件	3
2.	-	サー	-パのリストア手順	4
	2.1	L	既存環境で作業する場合	4
	2.2	2	新規環境で作業する場合	8
3.	ļ	動作	確認	13

1. 前提条件

DATA SEALED SAFER サーバが稼働しているサーバ機本体の不具合やOSのトラブルなどにより DATA SEALED SAFER サーバをバックアップから復旧する必要がある場合の復旧手順を示します。

バックアップファイルは日次のバックアップタスクにて取得しているものとします。

バックアップタスクの詳細は別紙「DATA SEALED SAFER 運用マニュアル.pdf」-「9. サーバの定期処 理」をご参照ください。

尚、ログデータに関しては復旧することができませんのでご注意ください。

2. サーバのリストア手順

DATA SEALED SAFER サーバには鍵情報等が保存されているため、DATA SEALED SAFER サーバのデ ータが消失または破損した場合は、暗号化ファイルの利用や復号が一切できなくなります。 そのため DATA SEALED SAFER サーバの鍵データベースは、必ず外部媒体にバックアップを確保して おく必要があります。

ハードウェアや OS、PostgreSQL の障害により DATA SEALED SAFER が起動できなくなった場合や、誤 設定の復旧を行いたい場合などに、過去の DATA SEALED SAFER サーバのバックアップファイルをリ ストアすることで、現在のデータベースやテーブル内容を破棄し、バックアップ時の状態に戻すことが できます。

2.1 既存環境でリストア作業をする場合

誤設定の復旧を行いたい際など、既に DATA SEALED SAFER サーバ及び PostgreSQL が一般的 な設定でインストールされている環境で作業する場合の手順について説明します。

(1) 事前準備

日次のバックアップタスクで出力された復旧したい時点の鍵データベースのバックアップフ ァイルを準備します。

フォルダ名	ファイル名
C:¥DATA SEALED SAFER¥key-dump	keydb-dumpYYYYMMDD.sql

(2) リストア作業

- ① スタートメニューより「DATA SEALED SAFER」-「停止」をクリックします。
- ② スタートメニューより「PostgeSQL 16」-「pgAdmin 4」を起動します。
- ③ 表示されたウインドウ内の「Servers」-「PostgreSQL16」を選択するとパスワードの入力 が求められますので、PostgreSQLのパスワードを入力します。

※この際、「Save Password」には絶対にチェックを入れないようご注意下さい。

S pgAdmin 4		-		×
File Object Tools Help				
Object Explorer 🕃 🌐 🚡 🔍 🚬 Dashboard Properties SQL Statistics	Dependencies Dependents	Process	es	×
	×	d.		
Please enter the password for the user 'postgres' to connect the	server - "PostgreSQL 16"			
Save Password				
	X Cancel V OK			

④ 「Databases」を展開し、鍵データベース「clasyskey」を右クリックし、「Propaties…」をクリックします。



⑤ プロパティ画面の「Database」欄の名称を下例のように変更し、「Save」をクリックします。

列:clasyskey ⇒ clasyskeyBK							
🖞 🥃 clasysk	key						×
^y General	Definition	Security	Parameters	Default Privileges	Advanced	SQL	
Database							
clasyske	уBK						
Owner							
🐣 postę	gres						~
Comment	t						
							h
00				×	Close	🕤 Reset	Save

 ⑥ コマンドプロンプトを管理者として起動し、以下のコマンドを実行します。
 > "<DATA SEALED SAFER データベース運用ツール導入フォルダ>¥DBRestore.bat>" "<鍵 データベースバックアップファイルのフルパス>"

■例

"C:¥DATA SEALED SAFER¥tool¥DBRestore.bat" "C:¥DATA SEALED SAFER¥keydump¥keydb-dumpYYYYMMDD.sql"

⑦ コマンドを実行すると PostgreSQL のユーザ「postgres」のパスワードを求められますの で、パスワードを入力し、その後は画面の指示に従って処理を続行してください。

■ 管理者: コマンド プロンプト	-		×
C:¥Windows¥System32>"C:¥DATA SEALED SAFER¥tool¥DBRestore.bat" "C:¥DATA SEALED SAFER¥key-dump¥keydb-dump202	50310	.sql″	^
Postgresのパスワードを入力してください)postgres			
CLASYSKEYデータベースをリストアします。 よろしいですか?(Y/N) <mark>)</mark>			

⑧ リストア処理の終了を確認後、コマンドプロンプトを終了します。



- ⑨ リストアが正常に行われた事を確認するため、マネージャクライアントを起動し、正常 にデータが表示されていることを確認します。
- ・データに問題が無ければ、「pgAdmin 4」上で⑤で名称変更したデータベースを右クリックし「Delete」を選択します。

確認メッセージが表示されますので、「Delete」をクリックして削除を実行します。



以上でリストア作業は完了です。

2.2 新規環境でリストア作業をする場合

ハードウェアやOS、PostgreSQLの障害により DATA SEALED SAFER が起動できなくなった際 などで、既存の DATA SEALED SAFER サーバ及び PostgreSQL が利用できなくなり、新規環境で アプリケーションのインストールから復旧作業が必要な場合の手順について説明します。

(1) 事前準備

リストア作業準備としてサーバ導入自動化ツールと外部媒体などに保存しているバックアップファイルを新サーバに用意します。

- ※ 新サーバはこれまでの旧サーバと同じ IP アドレスであることが前提です。
- ① サーバ導入自動化ツールを新サーバのデスクトップなどに移動します。
- ② 用意したバックアップを「C:¥DATA SEALED SAFER」以外のフォルダにコピーします。
 「C:¥DATA SEALED SAFER」配下にコピーした場合は、インストール時に上書きされる
 事がありますので注意してください。

バックアップに必要なフォルダは下記です。

フォルダ名	ファイル名
C:¥DATA SEALED SAFER¥管理	Admin.cid
	Register.dat
	Reissue1.dat
	Reissue2.dat
	Reissue3.dat
C:¥DATA SEALED SAFER¥key-dump ※	keydb-dumpYYYYMMDD.sql

※既に「C:¥DATA SEALED SAFER」フォルダがある場合は、他の場所に移動してください。

(2) インストール作業

- 別紙「DATA SEALED SAFER サーバセットアップ手順書.pdf」-「2. インストール手順」 を参考に新サーバでサーバ導入自動化ツールを用いて DATA SEALED SAFER インストー ルと定期処理の登録を行います。
- ② リストア作業の準備として①の新規インストールで作成された「管理」、「key-dump」フ ォルダを削除します。

フォルダ名	ファイル名
C:¥DATA SEALED SAFER¥管理	Admin.cid
	Register.dat
	Reissue1.dat
	Reissue2.dat
	Reissue3.dat
C:¥DATA SEALED SAFER¥key-dump ※	keydb-dumpYYYYMMDD.sql

※「C:¥DATA SEALED SAFER¥key-dump」フォルダが生成されていない場合は、削除作業は不要です。

③ 削除したフォルダの替わりに(1)事前準備で用意した「管理」、「key-dump」フォルダを
 「C:¥DATA SEALED SAFER」フォルダ内にコピーします。

(3)	リストア作業		
			L 1 . L L

- (1) スタートメニューより「DATA SEALED SAFER」-「停止」をクリックします。
- ② スタートメニューより「PostgeSQL 16」-「pgAdmin 4」を起動します。
- ③ 表示されたウインドウ内の「Servers」-「PostgreSQL16」を選択するとパスワードの入力 が求められますので、PostgreSQLのパスワードを入力します。

※この際、「Save Password」には絶対にチェックを入れないようご注意下さい。

🕑 pgAdmin 4		-		×
File Object Tools Help				
Object Explorer 🕃 🏢 🖀 🔍 🛌 Dashboard Properties SQL Statistics Dependencies Dependents	Pr	rocess	ses	×
➤ E Servers (1) Connect to Server × >> ■ PostgreSQL 16 Connect to Server >	ard.			
Please enter the password for the user 'postgres' to connect the server - 'PostgreSQL 16'				
Save Password				
Х Cancel 🗸 ОК				

④ 「Databases」を展開し、鍵データベース「clasyskey」を右クリックし、「Propaties…」をクリックします。



⑤ プロパティ画面の「Database」欄の名称を下例のように変更し、「Save」をクリックします。

例: clasyskey \Rightarrow clasyskeyBK

😑 clasys	key						×
General	Definition	Security	Parameters	Default Privileges	Advanced	SQL	
Database	e						
clasysk	eyBK						
Owner							
🐣 post	gres						~
Commen	ıt						
0 6				×	Close	🕽 Reset	Save

 ⑥ コマンドプロンプトを管理者として起動し、以下のコマンドを実行します。
 > "<DATA SEALED SAFER データベース運用ツール導入フォルダ>¥DBRestore.bat>" "<鍵 データベースバックアップファイルのフルパス>"

■例

"C:¥DATA SEALED SAFER¥tool¥DBRestore.bat" "C:¥DATA SEALED SAFER¥keydump¥keydb-dumpYYYYMMDD.sql"

⑦ コマンドを実行すると PostgreSQL のユーザ「postgres」とパスワードを求められますの で、パスワードを入力し、その後は画面の指示に従って処理を続行してください。

■ 管理者: コマンド プロンプト	_		×
C:¥Windows¥System32>"C:¥DATA SEALED SAFER¥tool¥DBRestore.bat" "C:¥DATA SEALED SAFER¥key-dump¥keydb-dump202	50310	.sql″	^
Postgresのパスワードを入力してください >postgres			
CLASYSKEYデータベースをリストアします。 よろしいですか?(Y/N) <mark>Y」</mark>			

⑧ リストア処理の終了を確認後、コマンドプロンプトを終了します。



- ⑨ リストアが正常に行われた事を確認するため、マネージャクライアントを起動し、正常 にデータが表示されていることを確認します。
- ・データに問題が無ければ、「pgAdmin 4」上で⑤で名称変更したデータベースを右クリックし「Delete」を選択します。

確認メッセージが表示されますので、「Delete」をクリックして削除を実行します。



以上でリストア作業は完了です。

3. 動作確認

2 章で復旧した DATA SEALED SAFER サーバの動作確認を行います。 動作確認は、DATA SEALED SAFER マネージャクライアントを起動します。

① マネージャクライアント起動

スタートメニューより、「DATA SEALED SAFER」-「マネージャクライアント起動」をクリ ックします。

② 「Admin.cid」の指定

ID ファイルの選択画面が表示されますので、「参照」をクリックし、「C:¥DATA SEALED SA FER¥管理¥Admin.cid」を指定後、パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

🖳 IDファイルの選択	×
IDファイルを選択してください。	
IDファイル(): C:¥DATA SEALED SAFER¥管理¥Admin.cid	参照(B)
パスワード(2): ●●●●●●●●●●●●●●●	
OK キャンセル 接続先(S)	ヘルプ(日)

③ DATA SEALED SAFER マネージャクライアントの確認
 DATA SEALED SAFER マネージャクライアントが起動し、に表示されるユーザのそれぞれの情報が正しいことを確認します。



以上で確認作業は完了です。

本書に含まれるすべてのテキスト、図表は santec Japan 株式会社の独占的所有物であり、顧客の個人的かつ非営利目的での使用に供するものです。

santec Japan 株式会社からの文書による承諾なしに、本内容のいかなる部分をも、いかようにも、修 正し、複写し、配布し、送信し、展示し、実演し、再生し、出版し、ライセンスし、類似物を製作 し、譲渡し、使用もしくは販売することはできません。

本書の情報は、通告なしに変更される場合があり、santec Japan 株式会社の側に責任あるいは説明義務が生じることはありません。

その他記載の会社名や商品名は、それぞれ各社・各団体の商標または登録商標です。